

# 児童発達支援ガイドラインによる自己評価について

2021年 1月

放課後等デイサービスハート

児童発達支援の質の向上と支援内容の適正化を図る為、児童発達支援に基づき実施した自己評価の結果を公表致します。

回収率： 保護者 61% (23名/38名： 回収数/配布数)  
職員 100% (11名/11名)

## 《調査からの読み取り・改善点》

	調査からの読み取り	改善目標・工夫している点
環境・体制整備	環境面については「子供たちがしっかり活動できるスペースを確保できていると思う」、職員の専門性については「子供に対する態度を見るとどの先生も専門性がある」等の肯定評価がほとんどだった。一方で、一部の意見ではあるが「玄関周りの衛生面に気を付けて頂いたらありがたいです」等の声があった。	室内・施設周りや送迎車両も含めて、衛生面を清潔に保つことは施設運営の基本と考え、清掃箇所によって、毎日・週1回・月1回等の頻度で分け、担当者を決めて実施するようにしています。
適切な支援の提供	適切な支援の提供の項目では「おやつ作りなど子どもが喜ぶプログラムが多い」「保護者が望んでる事を指導員がくみ取ってくれている」等の前向きなご意見を頂く一方で、少数ではあるが「もう少し療育的なことをしてほしい」というご意見も頂いた。	療育に関しては、2020年9月より作業療法士(OT)監修による「運動遊び」プログラムを取り入れる等の工夫をしています。同時にランチ調理や外出活動などの人気プログラムは今後も継続し、療育の質と幅を広げていきます。
保護者への説明等	子ども達の発達の状況や課題について共有理解ができているかに対しては、ほとんど「はい」を頂けている。しかし少数ではあるが、「スタッフによって理解や対応に差がある」という意見も頂いた。父母会の活動や保護者同士の連携に関しては「そのような活動は望んでいない」というご意見が複数存在した。	その日の最後に1日の振り返りを行い、子ども達の様子についてスタッフ間の情報共有を徹底するようにします。また、連絡帳を活用してご本人、ご家族のニーズをリアルタイムで把握し、より良い支援に繋げるように努めていきます。
非常時等の対応	緊急対応マニュアル・防犯マニュアル等の保護者への周知に関しては「(周知)されている」との意見が多数を占めた。一方、定期的な避難訓練等が行われているかに関しては「わからない」との意見が散見された。	災害対応マニュアルの周知に関しては、面談等を通じて引き続きわかりやすくご家族に理解して頂けるように努めていきます。また、避難訓練に関しては、新聞や連絡ノート等でご報告させて頂き、保護者への周知に努めていきます。
満足度	「子どもは通所を楽しみにしているか」「事業所の支援に満足しているか」では、大多数の方に「はい」との回答を頂けており、「いつも楽しみにしており土日も行きたいと言っている」「事業所の支援のおかげで私達(保護者)の生活が成り立っている」等の高い評価を頂いた。一方で少数ではあるが「仲良しの友達が来ている時のみ楽しみにしている」との回答や「どちらともいえない」の回答もあった	「どちらともいえない」というご意見や条件付きの「はい」がゼロになり、利用者様全員に満足頂けるように日々の活動内容やイベント等の見直しを継続的にを行い、よりご満足頂けるデイサービスにしていきたいと思います。